

DT-156

ディアルタイプ膜厚計

本体の特徴

- 電磁誘導式/渦電流式のディアルタイプ
- メモリー数: 320 (80 /1 グループ x 4)
- 統計データ表示
- 連続測定モードも可能
- ゼロ校正と標準板による簡単校正
- HとLアラーム設定
- 操作が簡単
- 自動停止機能
- 暗いところでも使用可能なバックライト機能
- 解析ソフト CD/USB ケーブル付き

用途

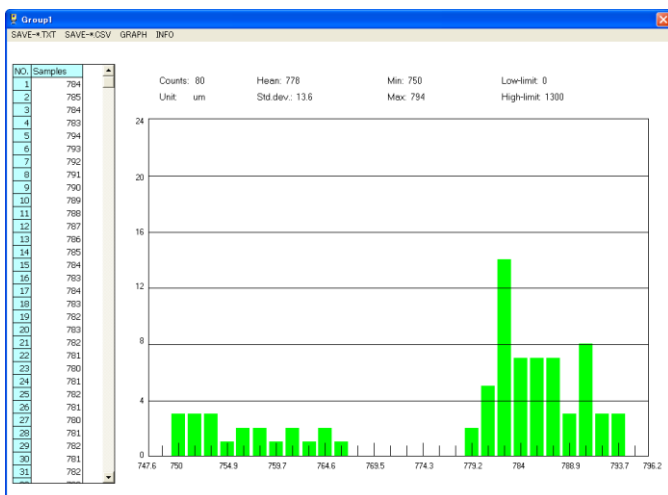
- 自動塗装の被膜検査
- 機器、船舶、橋梁、鉄鋼構造物の塗装被膜測定
- 亜鉛、銅、クロム、スズのメッキ厚測定
- 樹脂、ゴム、ホーロー等のライニング厚測定
- 鉄素地の酸化膜、溶射膜測定
- アルミ製品、ステンレス製タンク等の塗装検査
- アルミ製品、アルミサッシ等のアルマイト測定
- その他多種



膜厚計 DT-156 は、ディアルタイプのため、磁性金属 (鉄・鋼・フェライト系ステンレス) と非磁性金属 (アルミ・アルミ合金・銅・オーステナイト系ステンレス) 上の各種コーティングの被膜厚を測定できます。

DT-156 ではプローブを測定面にあて、プローブをスライドさせての連続測定モードも使用できます。この機能により、一定場所の膜厚差を簡単に判明できます。

測定データは本体内部のメモリーに 4 グループ (1 グループ: 80 測定データ保存) に分け保存でき、本体に付属の解析ソフトと USB ケーブルを使用して簡単に測定データをパソコンにダウンロードすることができます。



Thickness ソフトウェア

Windows XP, Vista, 7 対応のソフトウェアは測定データヒストグラム(度数分布図) とグラフで表示します。測定データの平均値、最高・最低値、標準偏差を自動計算し表示します。測定データはテキスト形式と Excel 形式で保存できます。

DT-156

膜厚計 DT-156 仕様

ロープ測定方法	F (電磁式)	N (渦電流式)
測定範囲	0~1250 μ m	0~1250 μ m
測定精度	0~850 μ m: (\pm 3%+1 μ m) 850 μ m~1250 μ m: (\pm 5%)	0~850 μ m: (\pm 3%+1.5 μ m) 850 μ m~1250 μ m: (\pm 5%)
分解能	0~50 μ m: 0.1 μ m 50~850 μ m: 1 μ m 850~1250 μ m: 0.01mm	0~50 μ m: 0.1 μ m 50~850 μ m: 1 μ m 850~1250 μ m: 0.01mm
最小凸面湾曲半径	5 mm	5 mm
最小面積	10 x 10 mm	10 x 10 mm
最小素材厚	0.5 mm	0.3 mm
電源	1.5 V 単 4 電池 2 個	
使用環境	温度: 0~40°C 湿度: 20~90%RH (結露なきこと)	
付属品	校正用標準ファイル(50, 96, 101, 250, 500, 997 μ m), 鉄とアルミ素材, 解析ソフト CD, USB ケーブル, 単 4 電池 2 本, 操作マニュアル キャリングケース	

※仕様は予告せず変更されることがあります。



標準価格(税込) ¥55,000.-

お問い合わせは下記に;

MK Scientific, Inc.

Measuring Knowledge

日本正規代理店: 株式会社 エムケー・サイエンティフィック

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町1500番地

Tel: 045-392-3532 Fax: 045-392-3536

E-メール: sales@mksci.com

Web: <https://www.mksci.com>

販売代理店: